

# 西播医療安全ニュース

2023年10月（第44号）発行

## ◆ 令和5年度 第1回 西播支部研修

テーマ：教えて辰巳先生！本当の心理的安全性

～心理的安全性を理解して育てることについて、一緒に考えてみませんか～

日時：9月9日（土）13時30分～16時30分

場所：姫路 じばさんびる 901号室

講師：近畿大学医学部付属病院 安全管理部教授 辰巳 陽一先生

質の高い医療の実現には優れた医療チームが必要となります。チーム医療が目指しているのは、階層意識をもたないこと、相手を知っていること、意見が言える、質問できること、全員がリーダーシップを持つことです。これが心理的安全性です。

今回心理的安全性の概念や心理的安全性にはメンタルモデルの共有が重要であることを学ぶことが出来ました。

心理的安全性を奪う行為は、**医療事故の誘発につながる**という認識が重要

心理的安全性を院内に広めるために

- ①心理的安全性という概念があることを周知する。
- ②話せる空気、質問できる空気の存在を意識して貰う。
- ③心理的安全性テストの継続進行。

**多様性の存在を認める！**

66名の方が辰巳先生の笑いも交えた楽しく熱い講演を、自施設の組織を振り返りながら熱心に聞かれていました。自施設の今後の取り組みや3時間の研修では時間が足りないという意見がありました。



## ◆研修参加者のご意見

「多様性の存在を認めてスタッフと関わる」

「相手の話を聴くことから始める」

「部署内でも伝達講習などを実施し活用する」

「医療現場において、詰所で怒る、挨拶をしない、事故が起きると問い詰めるなどの行動がみられるため心理的安全性を現場に浸透させる」

「大変興味深い内容で研修も楽しく学習出来たが、内容が多く3時間では時間が足りないように感じた。全てを理解するには至らず、全てを活用するには難しい」

「職種間の考えの違いに苦慮することが多く様々な疑問を抱きながら取り組んでいたが、講演から自身の疑問・行動・思考について回答していただいた気持ちとなりました」等

心理的安全性を高めていくために自身ができることは、多様性を認め相手を知って本音で話すこと、仕事を学習の機会として捉えることですが、心理的安全性を組織の中に構築するためにはリーダーが必要であると感じました。

『心理的安全性』が高いチームを作るために、困りごとを感じたら、西播の研修や事例検討会に参加してください。一緒に考え、取り組んでいきましょう。

### ～研修のお知らせ～ 第2回 医療安全研修

日 時： 11月25日（土）13時30分～16時30分（13時受付開始）

場 所： 姫路商工会議所 新館201号

テーマ： 多職種実践報告会

姫路赤十字病院： 重症メディエーター

姫路医療センター： 看護師

姫路中央病院： 理学療法士

姫路聖マリア病院： 臨床工学技士

### 弁護士との事例検討会

問題患者対応、院内暴力、転倒転落対応など、医療安全管理上の問題点に対し法的立場から指導を受けながら、話し合いをしています。自施設の困難事例の解決や、他施設の事例からの学びもたくさんあります。参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

**奇数月第3火曜日 16時30分～18時00分 姫路商工会議所（参加無料）**

発行元：兵庫県看護協会西播支部 医療安全委員会

事務局：赤穂市民病院 松下佐智子

電 話：0791-43-3222 FAX：0791-43-0351

e-mail：anzen@amh.ako.hyogo.jp